

だいじょうごがわ
大上戸川水系河川整備基本方針

令和5月7月

長 崎 県

だいじょうごがわ
大上戸川水系河川整備基本方針

目 次

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 大上戸川流域の概要	1
(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	3
1) 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項	3
2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項 並びに河川環境の創出と保全に関する事項	3
3) 河川の維持管理に関する事項	3
2. 河川の整備の基本となるべき事項	4
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設等への配分に関する事項	4
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	4
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る 川幅に関する事項	5
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するために必要な流量に 関する事項	5
<参考図>	
大上戸川水系流域概要図	

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 大上戸川流域の概要

大上戸川は長崎県大村市に位置し、その源を五家原岳の稜線上（標高 385m）に発し、山間部から平野部を流下しながら支川藤の川を合流後、大村市市街部を貫流して大村湾に注ぐ、流域面積約 9.1km²、幹川流路延長約 4.8km の二級河川です。

流域の気候は、対馬暖流の影響で温暖であり、年平均気温は約 17℃です。年降水量は約 1,800mm で、梅雨や台風の影響を受けるため 6 月から 9 月にかけて雨量が多くなっています。

流域内の地形は、上流域は小起伏山地や火山山麓地、下流域は扇状地性低地で形成されています。

流域内の地質は、上流域に輝石安山岩、下流域に凝灰角礫岩、玄武岩、礫・砂・粘土が分布しています。

流域の人口は約 10,200 人であり、その多くは大上戸川下流域に位置する大村市の市街地に集中しています。

流域が位置する大村市は、正暦 5 年（994 年）、藤原直澄が久原城に本拠をかまえ大村氏を名乗り、以来 14 代 500 年近く久原城を居城とし隆盛しました。また、近年では昭和 50 年に世界で初めて海上空港として開港した長崎空港をはじめ長崎自動車道大村インターチェンジが整備されてきました。さらに令和 4 年に西九州新幹線新大村駅が整備され、高速交通体系の要衝地である地理的特性を活かした、都市機能や産業等の集積が益々進むとともに、人口も長崎県内で最も増加しています。

大上戸川の治水・利水・自然環境及び河川利用状況の概要は、以下のとおりです。

① 治水の概要

大上戸川における主な洪水としては、昭和 32 年 7 月豪雨により、多数の被害が発生しました。この被害を受けて、災害復旧事業により治水対策を行いました。令和 2 年 7 月豪雨では再び床上浸水等の被害が発生しており、治水安全度は十分ではありません。近年では、短時間集中豪雨等による水害のリスクが増大しており、洪水氾濫の危険性は高い状況にあります。

② 利水の概要

大上戸川における水利用は、主にかんがい用水の水源として利用されていますが、近年、これらの水利用に大きな支障をきたすような渇水被害は発生していません。

③自然環境および河川利用状況

大上戸川は上流部で山地が多くを占め、中流部は主に耕作地が広がり、藤の川が合流する下流部に市街地が集中しているという特徴をもっています。

大上戸川の上流域の標高の比較的高い流域界付近では、ヤブツバキクラス域の代償植生であるシイ・カシ二次林と、植林地のスギ・ヒノキ・サワラ植林が広範囲に分布しています。

大上戸川の中流域の河川沿いは、主に耕作地として利用されており、水田雑草群落や畑雑草群落が分布し、下流域の河川沿いは市街地でまとまった植生はみられません。

大上戸川の上流域では、樹林地でメジロやヒヨドリなどの鳥類や、水辺や水域にはカスミサンショウウオ(絶滅危惧Ⅱ類 VU:環境省レッドリスト(以下「環」という。))、絶滅危惧Ⅱ類 VU:長崎県レッドリスト(以下「長」という。)の両生類やウスバキトンボ、ハラビロトンボなどの昆虫類、ドンコ、カワムツ等の魚類が確認されています。また、大上戸川の上流には「山田の滝」があり、景勝地として観光客が訪れます。

大上戸川の中流域では、ニホンアマガエルなどの両生類、オイカワ、ミナミメダカ(絶滅危惧Ⅱ類 VU:環、準絶滅危惧 NT:長)などの魚類、カワナ、モノアラガイ(準絶滅危惧 NT:環、絶滅危惧Ⅱ類 VU:長)、ミナミヌマエビ(情報不足 DD:長)などの底生動物が確認されています。

大上戸川と藤の川の合流部より下流域は、中流域同様の自然環境であり、大上戸川沿いには遊歩道が整備され地域の利用の場となっている。潮止め堰より下流は感潮域となっており、ボラ、チチブなどの魚類、護岸壁に付着するマガキやフジツボ類、砂泥底にはハゼ類などの魚類、ゴカイ類などの底生動物が生息している。河口付近ではアオサギなどの鳥類が確認され、汽水域を好む生物の生息・採餌場^{さいじば}となっています。

魚類の生息域は、上流から中流部ではドンコ、カワムツ、ヨシノボリ類などが確認され、河口部まで回遊する魚類としてニホンウナギ(絶滅危惧ⅠB類 EN:環)などが生息しているものと考えられます。

大上戸川では、大上戸橋^{だいじょうごばし}が環境基準点に設定され、水質に係る公共用水域の A 類型(環境基準値はBOD:2mg/L 以下)に指定されています。近年の大上戸橋のBOD75%値は経年的に環境基準値を維持しています。

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

大上戸川の整備にあたっては、安全・安心で快適な地域づくりをめざし、大村市の社会・経済の発展に係わる諸計画（第5次大村市総合計画等）との調整を図りながら、水源から河口まで一貫した計画のもとに河川の総合的な保全と利用を図っていきます。

またその際、地域へ種々の河川情報を提供するとともに、河川に対する要望の集約、河川整備・保全に係わる取り組みの促進、河川の維持に係る取り組みの支援を行い、地域住民と連携した川づくりを行います。

1) 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

大上戸川においては、想定氾濫区域内の状況、県内バランス等を考慮し、計画規模の降雨により発生する流量を安全に流下させることのできる整備をめざします。

また、今後、気候変動による外力増大が懸念されることも踏まえ、整備途上における施設能力以上の洪水や計画規模を超過する洪水等に対しては、洪水による被害を最小限に抑えるために、関係機関と連携して警戒避難及び情報連絡体制の整備等のソフト対策を総合的に実施します。さらに、災害に強い地域づくりのため、土地利用計画との調整を行うなど、集水域と氾濫域を含む流域全体で、あらゆる関係者が協働して行う総合的かつ多層的な治水対策を推進します。

2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに河川環境の創出と保全に関する事項

河川水の利用に関しては、地域住民や大村市等関連する他行政機関との綿密な連携のもとに合理的な水利用の促進等、適正な水利用を図ることにより流水の正常な機能の維持に努めます。

また、河川環境の創出と保全に関しては、現在の生物の生息場等の良好な河川環境を存続させるため、多様な生物の生息・生育環境に配慮した河川整備に努めます。さらに、地域住民が水に親しめる場としての良好な河川空間整備を図ります。

3) 河川の維持管理に関する事項

河川の維持管理に関しては、災害の発生防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備と保全の観点から、その機能を十分に発揮させるため適切に行います。

河川管理施設については、河川の巡視及び点検を行い、亀裂・陥没等の異常がないかを確認し、異常が確認された場合には、必要に応じてその補修工事を実施します。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設等への配分に関する事項

基本高水は、年超過確率 1/100 の規模の洪水とし、そのピーク流量は、基準地点
かなまるばし
 金丸橋（河口より約1.1 km地点）において $210\text{m}^3/\text{s}$ と設定し、これを河道へ配分します。

基本高水のピーク流量等一覧表 (単位： m^3/s)

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設等による調節流量	河道への配分流量
大上戸川	金丸橋	210	—	210

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

大上戸川における計画高水流量は、基準地点金丸橋において $210\text{m}^3/\text{s}$ とします。



大上戸川水系計画高水流量配分図

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は次表のとおりとします。

主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離(km)	計画高水位(T.P.m)	川幅(m)	摘要
大上戸川	金丸橋	1.10	+7.87	30	基準地点

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するために必要な流量に関する事項

大上戸川の河川水は、主に流域内のかんがい用水として利用されています。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量に関しては、動植物の保護、流水の清潔の保持等を考慮のうえ、今後、必要に応じて調査検討を行います。



参考図 大上戸川水系流域概要図